



御礼のあいさつ

この度は、助成金をご交付くださり、誠にありがとうございます。

私ども「つなぐ舎」では、コロナ禍による臨時休校実施期間中、学校給食が無くなってしまった児童・生徒及び、食事準備の負担が大きくなってしまった保護者に対して、お弁当の配布を行ってきました。週3回・1回35食の配布は、自前で調理・配膳をする場合に比べて2倍近くの費用がかかりました。

現在は、学校が再開されたため週2回の配布を行っていますが、活動資金が残り少なくなり、大変に不安を感じていました。しかし、このたび、令和元年度共同募金運動 寄付金による助成金を頂いたことで、今後も活動を継続できることになり、大変安堵しております。

子ども食堂は貧困家庭の子どもに食事を提供するだけの場所ではありません。現在は、地域のいろいろな家庭の子ども達が安心して過ごすことができる第3の居場所として各地で認知され、宿題の手伝いや遊びの見守りといった学習支援・遊びの安全確保の場となっているとともに、保護者、地域の方々や学生ボランティア等の若い方の交流の場としても機能しています。

異年齢の子どもたち同士が、また様々な世代の参加者が顔を合わせて年間を通して活動を進めていく中で、相談したり、励まし合ったりしながら、新たなつながりをもつコミュニティを生み出しつつあります。

今後さらに、コロナ感染拡大の第2波・第3波が心配される社会状況ではありますが、いただきました善意の浄財を目的に沿って無駄なく活用させていただき、地域の中で「孤立」する家族が少しでも無くなるように日々活動していく所存です。

この度は誠にありがとうございます。

令和2年7月

特定非営利活動法人つなぐ舎 理事長 菅野 英樹

令和2年度福島県赤い羽根共同募金助成事業（一般公募）にて助成決定
事業名：つなぐ舎子ども食堂事業